学内アンケート「どういう意味？な医療用語あるある」解説！

結果発表！☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

令和元年７月 調査

あるあるな医療用語	解説	
・亜脱臼	あだっきゅう	関節面の相互に一部（亜）ずれが生じた場合
・天疱瘡	てんぽうそう	代表的な水疱性皮膚疾患。大型の水疱が皮膚表面に多発する疾患
・類天疱瘡	るいてんぽうそう	天疱瘡ときわめて類似する皮膚症状を示すが，その本態が異なる水疱性類天疱瘡など
・虚脱	きょだつ	急激な血液循環障害によって血液が減り極度の脱力状態に陥ること
・呻吟	しんぎん	うめくほどに苦しむこと
・喘鳴	ぜいめい	呼吸器疾患の患者が呼吸の際発するゼーゼーヒューヒューという雑音
・増悪	ぞうあく	ますます悪化すること。病状などが進み悪くなること。
・「意思力」と「意志力」のちがい		意志力とは、物事をなすにあたっての積極的なこころざし 意思力とは、心の中に思い浮かべ何かをしようという考えや思いをさす
・疣贅	ゆうぜい	皮膚の表面にできる小さく丸い角質の突起物。いぼ。
・齲歯	うし	虫歯のこと
・シリンジ		注射器、注射器の筒
・「頓服」と「頓用（屯用）」のちがい	とんぷく	「頓用」は一定時間毎に連用するのではなく必要時に単回使用する薬のこと。「頓服」と書いてあると「頓用の内服薬」という意味になる
・姑息術	こそくじゅつ	比較的ちいさな侵襲で心臓や肺の負担をとる手術のこと。 BT シャント術や、肺動脈絞扼術（バンディング）が、代表的な例
・肉芽（にくげ？にくが？）		読み方は両方まちがいではない。外傷や炎症により欠損を生じた部分にできてくる、赤く柔らかい粒状の結合組織のこと
・流涎	りゅうぜん	涎（よだれ）を垂れ流すこと
・デブリ		正式名称：デブリードマン。器具を用いて創の壊死組織を切除すること
・ケモ		化学療法のこと。例：ケモ室（化学療法室）
・アッペ		虫垂炎のこと（盲腸）
・プシコ		精神科のこと
・ギネ		産婦人科のこと
・ラジ		ラジエーションのこと。放射、放射物、放射線、放射形
・DNR	デイーエヌアール	患者の容態が急変して心停止してしまっても、心肺蘇生を行わないこと
・CF	シーエフ	大腸ファイバースコープ（大腸内視鏡検査）のこと